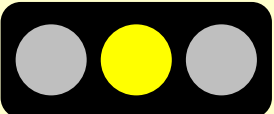



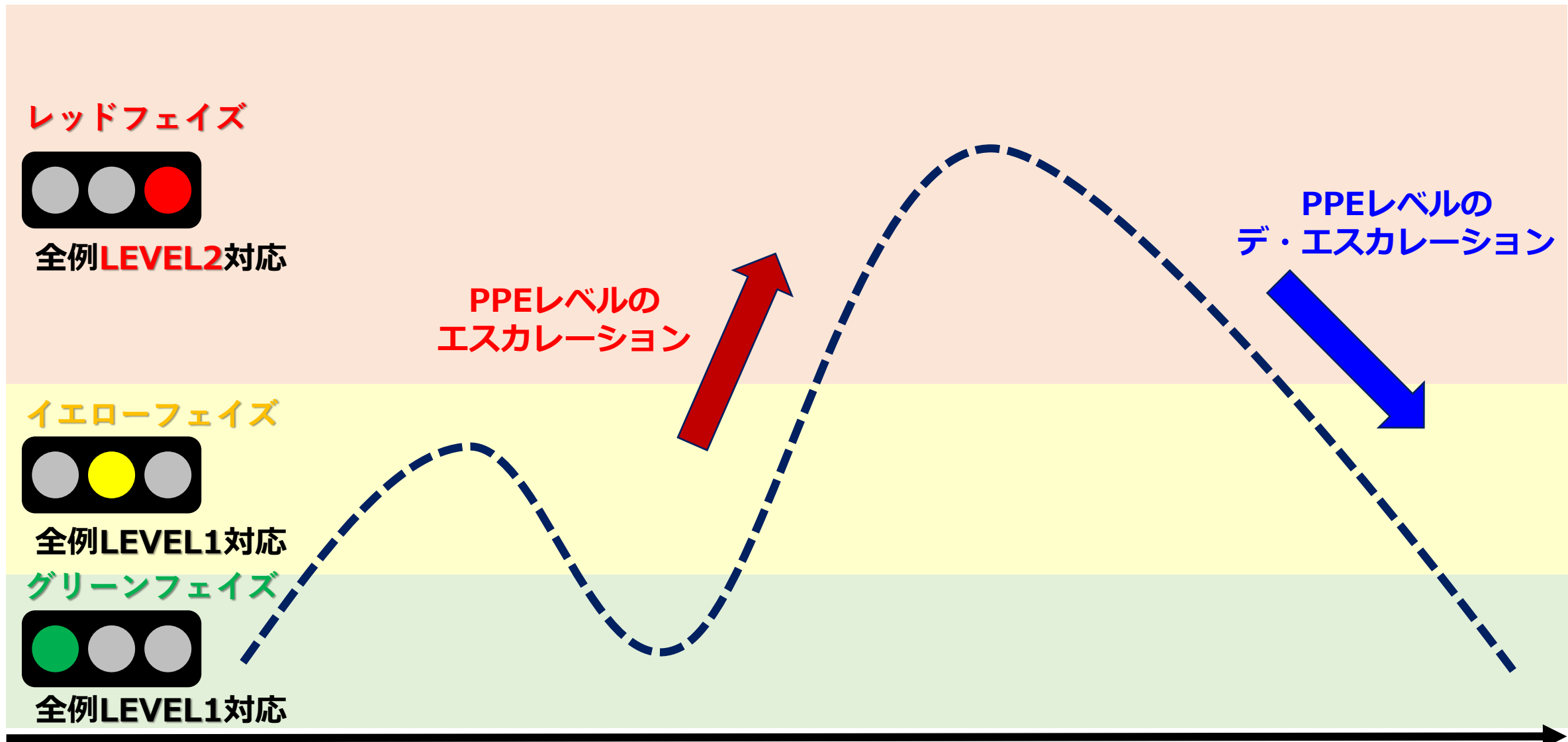
図. 県内警戒フェイズに応じた患者対応時のPPEレベルの一例

県内警戒フェイズ	基準例 (県内発生数/週)	患者対応時のPPEレベル	備考
<p><b>レッドフェイズ</b> 市中蔓延の 可能性が 高い状況</p> 	<p>9例以上</p>	<p><b>全例LEVEL2対応</b> サージカルマスク +アイガード +手袋 +キャップ・長袖ガウン</p>	
<p><b>イエローフェイズ</b></p> <p>市中発症が ありうる 状況</p> 	<p>4-8例</p>	<p><b>全例LEVEL1対応</b> サージカルマスク ±アイガード (偶発的な濃厚曝露を防ぐため)</p>	<p><b>医療機関では下記項目に基づきトリアージする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①臨床症状                     <ul style="list-style-type: none"> <li>-発熱・呼吸器症状</li> <li>-味覚・嗅覚異常</li> </ul> </li> <li>②2週間以内の濃厚曝露</li> <li>③特定警戒地域への渡航歴</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>いずれかに該当 ⇒<b>LEVEL2</b> 対応する ことを推奨</p> </div>
<p><b>グリーンフェイズ</b></p> <p>市中発症が ほぼない状況</p> 	<p>0-3例</p>	<p><b>全例LEVEL1対応</b> サージカルマスク ±アイガード (偶発的な濃厚曝露を防ぐため)</p>	<p><b>医療機関では下記項目に基づきトリアージする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①臨床症状                     <ul style="list-style-type: none"> <li>-発熱・呼吸器症状</li> <li>-味覚・嗅覚異常</li> </ul> </li> <li>②2週間以内の濃厚曝露</li> <li>③特定警戒地域への渡航歴</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>②③に該当 ⇒<b>LEVEL2</b> 対応する ことを推奨</p> </div>

# 感染流行カーブと患者対応時のPPEレベルのイメージ

～「県内警戒フェイズ」に応じて対応レベルをエスカレーション/デ・エスカレーションする～

警戒フェイズ



# COVID-19対策のためのレベル別PPE（個人防護具）

COVID-19対策としては常時LEVEL 1以上での診療とする

診療・検査医療機関  
で望まれるLEVEL



日常診療で  
常にマスクをする  
必要はありません

全ての外来・病棟

## LEVEL 1

発熱＋呼吸器症状を伴う  
患者を診察する時



サージカルマスク  
咽頭診察の際は  
アイガード着用

一般・救急外来

## LEVEL 2

COVID-19を強く疑うまたは確定  
(エアロゾル発生がない状況)



キャップ  
＋  
アイガード  
＋  
サージカルマスク  
＋  
長袖ガウン・手袋

外来隔離室・救急車対応・入院病棟

## LEVEL 3

COVID-19を強く疑うまたは確定  
(エアロゾル発生がありえる状況)



キャップ  
＋  
フェイスシールド  
＋  
N95マスク  
＋  
長袖ガウン・手袋

EICU/ICU

【重要！】発熱＋呼吸器症状のある方を診療する際は、患者・医療者ともに必ずマスク着用をする。  
PPE着脱の前後で必ずアルコール手指衛生を行う。